

そこから、  
企業の未来が  
見えてきます。



東京高専技術懇談会は、東京高専と会員企業の持つ、膨大な研究・技術開発・生産のリソースをリンクさせて、企業の発展に役立てるための組織です。

**\*一般社団法人東京高専技術懇談会の概要\***

年会費： 法人会員 10千円  
個人会員 5千円  
会員数： 115社（平成30年8月末現在）  
役員：  
会長 濱田 和幸 システム・インストルメンツ(株)  
副会長 古瀬 智之 (株)コスモ計器  
加藤 格 東京工業高等専門学校  
理事 芦田 春幸 (株)テクノメイト  
伊藤 國吉 合同会社微細加工研究所  
佐藤 直毅 (株)スリーボンド  
中西 健 (株)ニレコ  
横田 克己 (株)エリオニクス  
比留間健一郎 蛇の目ミシン工業(株)  
渡邊真佐男 大英エレクトロニクス(株)  
丸田 智子 泰興物産(株)  
鈴木 雅人 東京工業高等専門学校  
町田 茂 東京工業高等専門学校  
庄司 良 東京工業高等専門学校  
監事 小林 善男 一般財団法人  
日本品質保証機構

◆東京高専との連携こそ企業の技術開発力の源泉◆



一般社団法人 東京高専技術懇談会

会長 濱田和幸

昨今の新しい技術への期待、それに対応する技術革新の進歩も早く、その内容も複雑化しています。一つの企業だけでなく異業種交流により互いに技術の向上を図るのも有意義であります。また教育機関にあっては教育ばかりでなく各企業との産学連携も重要な課題であります。技術懇談会はこのような目的をもって東京工業高等専門学校を中心とした地域の企業が集まり、発足しました。平成21年には一般社団法人へ組織変更も行われ、それを機会に体制を強化し、東京高専の教育活動を助けるとともに会員企業の技術レベルの向上、高専の研究資源の利用、共同研究等により企業発展の後押しをするとともに、さらに充実した活動を展開していきます。

皆さまのご加入をお待ちしています。

<<入会までの流れ>>

- ① 入会申込書のダウンロード  
<http://www.gizyutsucon.com/>から入会申込書をダウンロード、必要事項を記入し  
[info@gizyutsucon.com](mailto:info@gizyutsucon.com)へメール送信してください。
- ② 入会承諾の連絡と年会費の振込通知が届きます。  
指定口座に年会費をお振込みください。
- ③ 技術懇談会ニュースを始め、各種案内がメールにて送信されます。

入会のお申込み、お問い合わせは下記までお願いします。

一般社団法人東京高専技術懇談会事務局

〒193-0941

東京都八王子市栢田町 1220-2 東京工業高等専門学校内  
電話：042-629-9345

Mail: [info@gizyutsucon.com](mailto:info@gizyutsucon.com)

url: <http://www.gizyutsucon.com>

一般社団法人

東京高専技術懇談会

技と知のリンク

産学連携を深める会員制のネットワークです。

入会のご案内

東京高専技術懇談会の主な事業は以下のとおりです。

- トップレベルの技術や経験を持つエンジニアが行う技術講座「匠塾」
- 会員企業の課題解決のために行う「出前講座」
- 最新技術動向を学ぶ「講演会」
- 技術や研究の最前線を視察する「企業見学会」
- 東京高専の教員のシーズと専門知識を活用した企業との「共同研究」や「技術指導」
- 東京高専が実施するインターンシップへの受入企業の紹介
- 東京高専が行っている教育活動への支援



## ◆東京高専の教員・学生と地域企業との連携組織です◆

東京高専には80名の新製品開発力を有する教員がおります。民間企業で実務経験を積んだ者も多く、企業における製品開発の重要性や共同研究や受託研究といった産学連携への取り組みも熱心で、地域企業への技術指導や製品開発に深くかかわっている者もおります。学内には、産業技術センターやものづくり教育センターがあり、各種生産設備や研究設備を整備しております。設備は、学生実験や卒業研究になど教育目的で整備されたものですが、それらの設備を地域の企業に役立てる受託試験や技術相談といった産学連携活動も積極的に推進しております。また、東京高専が立地する八王子市を中心とする東京多摩地域と隣接する相模原市を含む神奈川県南西部は、広域TAMAとも呼ばれ製品開発型企業や製造技術開発型企業といった優良企業の集積地として全国的な評価を受けており、経済産業省が認定した「産業クラスター計画」の一端を担っています。こうした東京高専の専門教員の開発力と若くて柔軟な東京高専の学生の発想力に地域企業のもつ技術力を結集して新しい産学連携を生み出し、地域企業の発展に役立つ目的で設立されたのが「一般社団法人 東京高専技術懇談会」です。ぜひ、ご入会をご検討ください。

### ◆一般社団法人 東京高専技術懇談会の沿革◆

平成5年7月 技術懇談会が発足しました。  
平成19年7月 東京高専が多摩信用金庫と連携協力協定を締結しました。  
平成19年12月 会員数が80社を超えました。  
平成20年8月 第1回「東京高専 de サイエンスフェスタ」を開催しました。  
平成21年3月 東京高専が八王子市、相模原市、八王子商工会議所、相模原商工会議所の4団体と相次いで連携協力協定を締結しました。  
平成21年4月 第1回「匠塾」（参加者56名）を開催しました。  
平成21年6月 「一般社団法人 東京高専技術懇談会」に組織変更しました。  
平成25年2月 専攻科特別研究発表会を開催しました。  
平成25年3月 異業種交流会を開催しました。  
平成25年7月 定時総会で役員改選を行い、新会長に濱田和幸氏が就任しました  
平成29年9月 東京都産業技術むか-連携グループ「信頼性安全技術研究会」との連携事業を開催しました。  
平成30年8月 会員数 115社

## ◇匠塾



企業や大学等で活躍しているエンジニアや専門技術者を活用して、地域企業で働く若手従業員を対象に高いレベルの技術

講座を行っています。平成28年度は「ソリッドワークス基礎講座」、「アナログ回路基礎講座」、「トヨタ生産方式の基礎講座」、「デジタル回路基礎講座」、「組み込みソフト開発基礎講座」、「金属プレス技術基礎講座」を企画しました。今後もアンケート調査に基づいたニーズの高い技術講座を計画中です。

## ◇講演会

最新の社会情勢、技術動向について専門家を招いて講演会を行っています。

- 平成28年7月「日本の産業を支える長寿企業（100年企業に見る経営の真髄）」  
電気通信大学特任教授（前日刊工業新聞社長）  
千野俊猛 氏
  - 平成29年7月「水素社会の未来」  
綱さがみはら産業創造センター  
シニアアドバイザー 永井 直文 氏
  - 平成30年7月「AI・IoT時代の企業経営」  
電気通信大学特任教授（元日刊工業新聞社長）  
千野俊猛 氏
- ★肩書きはいずれも講演会時のものです。

## ◇企業見学会

- 技術や研究の最前線を視察・見学しています。
- 平成28年2月 一般財団法人日本品質保証機構（JQA）（東京都八王子市）
  - 平成29年3月 日産自動車株式会社 横浜工場
  - 平成30年3月 味の素株式会社 川崎工場



## ◇技術相談・共同研究など

東京高専技術懇談会では会員企業や地域の新しいシーズと高専教員の持つ技術知識を連携させた共同研究や受託研究を推進しています。



また、東京高専が所有する分析

・測定装置、あるいは実習工場にある各種工作機械等を活用した試験や加工を受託するとともに、専門知識を有する教員による各種技術相談にも積極的に対応しております。

## ◇インターンシップ



東京高専では本科の4年生、専攻科1年生にインターンシップを義務付けております。そのため毎年本科生200名と専攻科生30名が企業に一定期間派遣されています。この受け入れ先に技術懇談会会員企業をお願いしています。また、新たな試みとして通常の職業体験型インターンシップではなく、学生の視線で見た派遣先の技術・業務内容を企業の担当者と一緒に検討する「広報戦略型インターンシップ」も行っております。この取り組みは東京高専独自のプログラムです。こちらの受け入れ先も会員企業をお願いしております。

## ◇教育支援

東京高専の本来の仕事である教育部門とも連携しております。なかでも毎年1月に行われている専攻科生の特別研究（いわゆる卒業研究）の発表会では、会員企業に招待状を発送しておりますが、見学だけではなく一部の会員の方には審査員となっていただくなど、企業と学生の積極的な連携も図っています。



